

平成 28 年度 第 3 回文化財保護審議会会議録

日 時：平成 29 年 2 月 24 日（金）16:00～17:10

場 所：飯山市ふるさと館 体験作業室

参集者：委員 吉越委員、望月委員、樋口委員、浦山委員、平野委員（欠席：丸山委員）

事務局 伊達市民学習支援課長、藤本文化財係長、文化財係小澤、丑山

傍聴人：なし

1 開会

（市民学習支援課長）

2 あいさつ

（会長）

飯山城も旧市民会館が解体され、城らしい姿が目立つようになった。城跡整備が文化財行政にとって大事だと改めて感じた。

3 協議事項

（1）平成 28 年度文化財関係事業報告について

資料 1～4 ページにより説明

（委員）

妙福寺の門は、9 月に市に譲渡されたということでもいいのか。今どこにあるのか。

（事務局）

9 月に市に譲渡され、旧第三中学校に保管してある。

（委員）

妙福寺の門が飯山城の門であるという記録があるという話があったが、その後どうなっているのか。

（職務代理）

古文書がたくさんあり、飯綱町の歴史ふれあい館で調査している。城跡整備担当の市まちづくり課に調査結果を問い合わせるように伝えてあるが、その後どうしたのか分からない。譲渡された門は傷んでいて厳しい状態。

（委員）

松江歴史館で発見された城絵図について、飯山城の絵図もあるということだが、情報提供など、具体的な動きはないのか。写真データをもらうことは可能ではないか。

（事務局）

今のところ何も動いていない。まず、データ等資料をもらえるか聞いてみたい。

（職務代理）

「飯山城絵図集成」を刊行するとき、広島に絵図があるということで大学にも協力してもらったが、正保の絵図より少し古いのではないかという見解。新聞に掲載された松本城の絵図をみれ

ば、正保の絵図とあまり変わらないようだ。A3 くらいの大きさではないか。

(委員)

新聞掲載の絵図は正保の絵図式の描き方をしていると思われる。いずれにせよ、何らかのかたちでアプローチする必要はある。

(委員)

小菅の整備計画について、具体的にはどのようなものなのか。

(事務局)

国の重要文化的景観に選定された集落において、建物の修復方法や、過疎化のなかでどうやって集落を維持・活用していくかなどについて整備計画を策定するもの。

(課長)

構成要素をエリアで分けて、短期、中期と優先順位をつけて整備計画を立てている。今年は女性たちの意見も聞いて新しい視点が加わった。これからまとめていく作業となる。

(委員)

小菅の祭りにあたって、里山も手入れをされると思うが、これについてはどうなっているのか。

(事務局)

里山も選定範囲に入っているので、整備・活用計画に含まれる。

(会長)

旧市民会館跡の発掘調査では何か出たのか。

(事務局)

近年の大量のゴミが出土した。遺構は検出されなかった。

#### (1) 平成 29 年度文化財関係事業計画について

資料 5 ページにより説明

(職務代理)

猿飼田遺跡の発掘調査は来年度もやるのか。

(事務局)

今年度の調査は 12 月中旬に実施した。降雪の時期となるため、発掘調査および工事が継続できないということで延期となった。来年度の調査時期は未定。

(職務代理)

企画展「正受老人と白隠禅師」の内容について聞きたい。

(課長)

美術館で開催する企画展では、県内外から 40 点ほど展示品の借用を予定している。正受老人の自画像などが借りられそうである。入館料は特別展として 600 円とする。細川護熙氏に正受老人の話をしてもらう予定。デスティネーションキャンペーンに合わせた時期に、1 か月半くらい開催する。ふるさと館でも関連した企画をやりたい。

(職務代理)

美術館と郷土博物館は観点が違う。文化財からの視点で考えたほうがいいのか。

(課長)

ぜひご協力願いたい。図書館でも関連企画をする予定。正受庵周辺整備に関しては、正受庵北

側をミニ公園化し、散策できるようにしたい。

(委員)

正受庵の整備のなかで、池を田んぼに戻すことはしないのか。

(課長)

難しい。正受庵北側の用地買収は、これ以上荒らされないようにするもの。整備については保存会で行う。

(委員)

茅葺屋根の葺き替えはまだ先か。

(職務代理)

燻蒸していないので、だいたい25年くらいの周期となる。その間に小修理や差し茅を行なっている。燻蒸をすればいいが1日誰かがついていないといけないし、煙が出ると周辺の人が心配するということがあってやっていない。

(委員)

茅葺職人もいずれいなくなってしまうのではないか。

(会長)

飯水教育会でも正受老人に合わせて何か取り組みを行なってみてはどうか。

(委員)

文化財を身近に感じていない人に対し、飯綱町では発掘調査の企画展の関連イベントとして、出土した戦国時代の茶道具で当時のようにお茶とお茶菓子を作るという企画を実施した。地元の人に好評で、文化財を身近に感じられたとのこと。飯山も食文化が盛んなので、出土品などに結びつけて企画をやってもいいと思う。

(課長)

松平時代の食文化と結び付けてもいい。

(会長)

ふるさと検定は、小学校であと3校未実施だが、今後の実施予定は。

(事務局)

2校はこれから実施予定。1校は今年度実施しないことになった。

(3) 市内の文化財候補リストについて

(事務局)

この審議会において市内に存在する文化財として価値のあるものを把握し、整理しておくことが大切と考えている。平成21年頃まで検討していたリストがあるのでそれを基に整理していきたい。

#### 4 その他

(課長)

市公民館の、子供向けの学習会で満蒙開拓を取り上げたい。丸山邦夫さんの資料が少ないので、研究された人がいれば教えてほしい。

(会長)

信州社会科研究会で、泉台小の教諭が10年くらい前にまとめたものがある。参考にしてほしい。

## 5 閉会